

第5回米原市定例教育委員会

日 時：平成28年5月12日

午前9時30分開会

場 所：山東庁舎3階 第2委員会室

(出席者)

教 育 委 員：稲村委員長 河居委員長職務代理者 本庄委員 近藤委員
山本教育長

教 育 総 務 課：仲谷課長

学 校 教 育 課：藤木課長

生 涯 学 習 課：丸本次長

歴史文化財保護課：高橋主査

学 校 給 食 課：大澤課長

図 書 館：今川副館長

書 記：澤

1 開 会

2 委員長あいさつ

おはようございます。大型連休も過ぎまして、まさに新緑が目にしみる良い季節となりました。私から2点ほどお伝えします。1つは4月5月が過ぎ、いよいよ本格的に本年度の事業が軌道に乗ってきた頃ではないかと思えます。職員の方におかれましては如才ないと思えますが、常に先を見通しながらそれぞれの仕事に取り組んでいただきたいと思います。新しい職員も何人か入っておられるのではないかと思います。担当部署で漏れがないか、あるいはしっかり機能を果たしているか、その辺りも含めて管理職のみなさんにはうまくスタートしているか等の御確認方よろしくお願ひしたいと思います。

先ほども教育長と話をしていましたが、学校も連休が終わり特に問題はないということでございます。今日の資料を見ていると4月に欠席の子どもさんで7日以上が小学校で3人、中学校で8人、全日欠席が小学校で0人、中学校で2人というようなことが出ています。この連休明けは不登校になるきっかけと言いますか、不登校気味になる生徒が出てくる時期です。小学校、中学校によって違うと思えますが、家庭訪問が4月5月頃にありますし今やっている所もあると思えますので、そのあたりも含めて子どもの状況を保護者と連携し機会を捉えて御指導いただけたらと思えます。

本日は、午後には都市連絡協議会の会議もありますので委員のみなさんには1日となりますが、どうかよろしくお願ひします。本日は大変御苦勞様です。よろしくお願ひします。

3 会議録承認

3月臨時会 承認

4月定例会議事録 承認

4 教育長報告

前回の教育委員会の開催が4月19日だったと思いますが、約1か月の中での主だったところだけを説明させていただきます。

まず、4月20日に部局別重点目標ヒアリングがございまして、市長、副市長、教育長が各部局の今年の重点施策についてヒアリングを行いました。教育について話題となっていたのは、一つは学校教育における学力の二極化という傾向がある中で、学校においては子どもたちに最低限の学力は身につけてあげてほしいと、要するに低学力の子が放置されたまま卒業することのないように最低限の学力の保証を頑張ってもらってほしいということが出ていました。特に貧困と学力との比例関係というのは相関があるということを世間では言われていて、なかなか家が貧しくて勉強が十分できないということが言いづらい家庭はないのだろうかという話題もあります。その辺は学校が、それぞれの子どもの個々の状況を把握しながらやっていますが、学習の積み上げが十分できていない子どもたちの学力をどのように保証してあげるかというところで特に私は小学校でもう少しテコ入れが必要でないかと考えているところですので、そこはまた頑張っていきたいなと思っています。

2点目としては、国体に向けた方針や整備ということで、今、教育委員会部局の教育総務課・生涯学習課のスポーツ担当で国体に向けた動きをつくってはいるものの財政的な部分も今後関わってきますので、やはり最終的にはどこかのタイミングで市長部局で国体準備室が必要だということが話として出ています。

それから、歴史文化財の関係になりますが、米原市をPRする中で米原ゆかりの人物を昨年度来市長から何か提案できないかという話がありました。ここについては、なかなか決めづらい部分があります。京極家であったり霊仙三蔵であったり、石田三成とか。明後日からMEET三成展のオープニングセレモニーが観音寺で3市連携のもとであるわけですが、そのあたりもう少し精査して提案できるようにしていきたいと思っています。流れ的には戦国武将が長浜なり彦根であるので、米原は少し時代背景が違う中で米原ゆかりの人物が出せると良いなという思いもあります。

本日、部長が豊岡の方にB&G海洋センターの近畿の総会に出っていますが、今年度山東B&G海洋センターでB&Gからの補助金1,800万円をいただいて改修工事ができるということになりました。B&G本部からも4月28日に米原市に来ていただき授与式を行いました。夏のシーズンが終わった頃からの工事になってくると思います。

そして、現在東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンとして米原市がホッケーの事前合宿地として手を上げていこうということで動きをつくっています。これは、滋賀県でホストタウンとして手をあげる市町がないという中で滋賀県議会でも話題になって

いて、滋賀県ならではのスポーツを2つほど何とか挙げていきたいということで、1つは大津市のボート、そしてもう1つが米原市のホッケーということでお願いにも来られ、こちらもそのような思いでホッケー協会とも話し、現在申請手続きをやっています。来週火曜日にはニュージーランド大使館に市長と私で出向く予定をしています。このニュージーランドは、実はローザンベリー多和田の大澤さんが既にニュージーランドにぶどう農園を持っておられ、そこのワインを大使館にも納めているということや国の政府関係・大使館との関係もあるということと米原市出身の山堀さんがホッケーの全日本の監督ということで、ニュージーランドのコーチとの関係もつくれるだろうとニュージーランドにターゲットをあてて登録申請をしているところです。滋賀県の方が5月の9、10日頃に内閣府に行き現状の報告を伝え、5月19日までに申請をあげるというような流れで6月上旬にうまくいけば通るもしくは継続審査という形になるのかなと思っております。そのようなホストタウンによって米原市とニュージーランドとの子どもや大人も含めた国際交流、そしてホッケーの事前合宿、その前後における市民あるいは文化交流という部分が入ってくると思っています。全体として大きなところはそのあたりだと思っていますが、教育総務課については昨夜第3回の教育振興基本計画審議会を開催しました。積極的な意見を賜りまして、また6月に向け昨夜出た意見をまとめて提案できたらなということです。

柏原小学校の大野木・須川の子どもたちが路線バスで通学をしていますが、中型バスの座席数が少なく須川の子ども5人ほどが毎日立たざるを得なくなっている状態になっており、その5人をいつまでも放置できないことから、庁舎のワゴン車を活用し人もお願いしながら安心安全に通学できるように考え対応をしています。これは児童数の関係で今年度限りのことで、しかも朝だけの話であるということで賃金等も含めて早急に対応させていただいているところです。

そして、学校の新電力導入に向けて公告をしておりましたところ7者の申し出がありました。今後この7者の契約審査会を終えて入札し、新電力導入の業者が決まりうまくいけば9月1日からの新電力ということで、経費の削減を図っていきたいということです。

学校教育課では資料を見てもらえれば分かりますが、4月の緊張感がやや連休前頃から慣れてきて子ども同士のトラブル、いじめの疑い等が出てきていますのでそれぞれの学校で対応していただいているところです。ただ大きな暴力事件ということはなく、物を隠された、嫌な事を言われた、頭をたたいたとかよくあるようなことですが、これもいじめやいじめの疑いとして報告している状況です。5月に入りまして人事訪問も始まりました。まだ1校ですけれども6月中旬に向けて各学校の訪問をしていきたいと思っています。中学校の修学旅行はほぼ終わり、また小学校の修学旅行も入ってくるかなということです。教育センターの方も明日調査研究の委員の委嘱式を行いまして各部会がスタートするということです。

生涯学習課の方は多方面に渡って色々な業務があるわけですが、特に司馬遼太郎のシンポジウムで受付業務等もやっていただき、体育協会の理事会やスポーツ推進協議会の第1

回の総会も行っていただきました。また、今年度に向けての芸術展覧会の企画会議も終わっていただいています。現在、はにわ館の展示会場で米原市の絵画展を開催していただいています。これは、期間がなくて十分PRができていないのですが、そこに展示してある絵画はかなり値打ちのある絵画です。ルッチに保管してあった下倉棋世さんの絵画ですとか、あるいは個人が持っておられる非常に素晴らしい有名な画家の絵画を展示しているということですのでまた一度御覧いただけたらと思います。

歴史文化財保護課につきましては、色んな出前講座等もやっていただいていますし、6月5日には毎年開催しています鎌刃城まつりもありますので、良かったら御参加いただけたらと思います。今日の資料にもありますように「学校のまわりの宝物」のリーフレットを作成していただきました。遺跡だけではなく文化伝統行事、自然も含めて校区の様子が分かるような、この学校区に勤めたら最低ここは知ってほしいなというようなものを毎年3小学校区ずつ3年計画でまとめていただく予定です。今年度は伊吹小学校区・大原小学校区・そして米原小学校区のリーフレットを作っていただきました。

学校給食課につきましては、先月2つの異物混入の話がありましたが、その辺の対応もしていただきました。なかなか特定できなかつたという部分もありますが、現在は順調に安全安心な給食業務を行っていただいておりますし、今後学校への食育の指導に栄養士さんに出向いていただくということも入っております。また補正予算の中にもありますが、西部・東部ともに新しく出来て改修もされてから何年も経って色々と修繕が必要となってきたことを聞いております。後ほどの補正予算の方でまた出てくると思います。

図書館につきましては、ZTVにも出ていましたように近江におきまして開館17年を終えての記念行事として子ども読書の日にちなんだお話し会等もやっていただいておりますし、市立図書館のサービス基本計画の策定に向けての説明も受けましたが、非常にきめ細かく策定に向けて頑張っていただいております。5月の下旬には図書館協議会を開きながらまた御意見を賜ろうと思っております。

以上、全体と各課に関する私が把握しているところの報告とさせていただきます。足りない部分は各課長から付け足して報告をお願いしたいと思います。

委員長 : ありがとうございます。補足的な説明はありませんでしょうか。ないようですので河居委員、何かございますか。

委員 : 今、教育長からも御説明いただきましたけれども、学校のまわりの宝物を興味深く拝見させていただいています。このような視点で捉えられているのは非常に良いことだなと思います。学校現場では非常に活用はしやすいのかなと思いますが、一般の方々へどのような形で周知し、また活用していくかが課題だと思うのですが、その辺についてはどのような形で周知を考えていらっしゃるのでしょうか。

事務局 : もちろん学校の活用もそうですが、実は作った者の思いとしては地域のサロンに出ることが多いので、3学区については地域に行ったら必ずこれを持って行って地域の特性を話せるかなと思って作りました。また伊吹小学校から提案いただいて、ホームページにも載せたいということでデータも提供していますのでダウンロードできます。

委員 : ぜひ、良い視点で作られているので。あともう1点ですが、はにわ館のリノベーション協議というのがこの予定の中に書かれていますが、将来的に「はにわ館」はどのような形でリニューアルというか位置付けされるのでしょうか。

事務局 : リノベーションということで、はにわミュージアムを御存知だと思いますが、今、機械が故障して機能していない状況の中で非常にもったいないのでそこをリニューアルし、埴輪は貴重ですので埴輪を残しつつ文化芸術のような展示ルーム等も入れながら改修していきたいなと思っています。ひとつ展示ルームがあるのですが、そこだけでは狭いし、はにわミュージアム自体が全部故障していますのできれいにするとみなさんに使っていただけたと思います。合わせてかたりベホールもあります。そこも機器が色々と故障していますので一体的な利用として使うと文化芸術展示会も出できますし、住民さんがそこで活動できるような場所を作りたいということで、今回色んな文化芸術協会の方や埴輪の修復の関係の方も寄っていただいて、どういったものができるのかということをごくばらんに話しながら進め、今年設計業務の予算をみていますので入札を行い良いものを作りたいと考えています。

委員 : 近江地域だけでなく米原市くらい大きくされても良いのかなと思いますけれども、良いものができるようによろしくお願いします。

委員 : 河居委員さんと同じようなことを考えていたんですけども学校のまわりの宝物は、自然に触れた学習として子どもたちが身近に触れる良い資料だと思いますし、一般の方には地域に行って参考資料としてお話されるということで、地域の人は非常に懐かしいであろうし、校歌も書いていますし、またそこからいろんな話もあるのではないかなと思います。2つ目はホストタウンについても先ほどおっしゃってくださったので非常に理解することができました。私もホストタウンが何かかなと思って調べていたんです。登録すると参加国との交流事業ができるし、また合宿等交流ができるということでまたこれから2次審査に向けて進めていただきたいなと思います。

委員 : 私も近くにいても「はにわ館」には行ったことがないです。近江地域というのでなかなか行く機会もないのですが、今は機能していないということですね。

事務局 : はにわミュージアムは色々勉強できる場所ですが、バーチャルメディア的な機械が故障していますので使用禁止になっている状況です。

委員 : そんなものがあることも知らなかったです。

事務局 : 貴重な埴輪が7体あって、それを修復し展示しようと思っていますし、かたりペホールに子育て支援センターが入っていたのですが、この4月からおうみ認定こども園の方に移ったのでそこが空いてきたという状況もありますので、もう少し一体的な活用をしたいということです。図書館も併設していますのでまた一度見ていただけたらと思います。

委員長 : また機会があれば、あちらで委員会を開催するのも良いですね。ひょっとした来月くらいに実現するかもしれませんので。そういう時にまた説明いただけたらと思います。柏原小学校のバスですが、運転手はどなたがされているのですか。

事務局 : 朝の便だけで、朝7時45分くらいから須川のバス停へ行って柏原小学校に送るだけの1時間だけの臨時職員の雇用をしています。

委員長 : 安全に十分留意していただいて、子どももちゃんと座っているか等の指導も含めてやっていただきたいと思います。学校のまわりの宝物の話も出ていましたが、今日の資料の中に歴史文化財の出前講座で教職員初任者研修というのが挙がっていました。かねてから教育センターの事業の中で歴史探訪講座でしたか、そんなことで高橋さんには大変お世話になっているところです。今回のこのような資料で、今後3小学校区ずつということで先の見通しも聞かせていただきましたので子どもだけでなく地域住民も含めてぜひ活用していただけたら良いのではないかと思います。新しい先生方も増えていますので、大変良い機会だと思います。色々な機会に地域を知るという点で今後とも歴史文化財保護課のみなさんには大変お世話になりますが、よろしく願います。また、図書館の資料をカラーで貼り付けていただけていて図書館の良さが大変よく分かりますのでありがたいと思います。大体どの課も順調にスタートいただいていると思いますので、今後ともよろしく願います。

5 議案審議

委員長 : 報告第 2 号と議案第 35 号については非公開とします。(議会の議案公開後公開)

報告第 2 号 公益財団法人伊吹山麓スポーツ文化振興事業団の事業計画および決算に関する書類の提出について専決処分の報告について
【生涯学習課】

事務局 : 毎年常任委員会等で話題になるのは、当期純損益金額がマイナス 280 万円ほどありますが、公益財団法人なのであまり利益をあげてもいけないという話もある中で実質赤字での運営となってしまっているのかその辺りはどうなんでしょうか。

事務局 : 施設ごとの損益というのも出していただいています。薬草の里文化センターでは 37 万円、薬草湯では 55 万円、文化資料館では逆にプラス 66 万円、体育館では 461 万円など、特にお風呂の部分では人数は減っているが料金が上がっている部分があるので収入としては増えていると聞いています。また、原油価格の低下によって灯油代が減少しているため光熱水費についても昨年と比べると減少していると聞いています。

事務局 : 指定管理の中で、実質的な赤字運営なのかどうかというのは本当はどうなんでしょうか。数字だけみるとこんなもので良いのかという話が出てくるので。数字は我々も理解しづらいところがあって、どのように運営として理解したら良いのかとうところですよ。

事務局 : 数字というのは純損益金額のマイナス 285 万円のところを言っているのですね。

事務局 : この赤字の部分をどこで補填しているのかということですよ。

事務局 : そうです。お願いしている教育委員会事務局として放置していても良いのかということで、新たな指定管理期間も来るのでその辺りを理解しておかないといけないのかなと思いますので。

事務局 : 公益財団の法人決算としては今ほどの 285 万円の損失となっていますが、建物の固定資産の減価償却費 636 万円ほどを引き当てた後の損益ですので財務上改善しているとお聞きしています。

事務局 : 結局その数字が見えてこないために昨年もそのような話題があつて、減価償却費 636 万ほども見込んで純損益額がどうなっているというところ辺りがこの数字だけしか見ていなくて、これで良いのかとなるのでその説明をうまくしていかないと誤解を招くことになる。

事務局 : はい。その辺りの説明の仕方を対応していきたいと思います。
指定管理につきましても、来年 3 月に切れますので引き続き担当の思いとしては 5 年の公募でいきたいなと思っています。公の施設検討委員会も来週あります。そのような流れの中で伊吹薬草園の改造計画というのも事業団で考えておられますので、調整しながらやってまいりたいと思います。

委員長 : 事業の数字がやっぱり見にくいので、きちっと資料をチェックいただいて分かるようにしておかないと。教育長が言われるマイナスの数字を見ると一番にお風呂のことが気になりますけれども、風呂の現状について資料だけ取り寄せてもらっておいて委員会に説明いただいたら良いと思います。色んな営業努力はしっかりやってもらっていることは間違いないので、そのような事例をいくつか持っておいたら良いのではないかと思います。
指定管理になって、このマイナスがプラスになったら返せということになるのですか。

事務局 : そうですね。

委員長 : その辺が難しい。事業団の立場からですと生涯学習課からもっと指導をしてほしいということもありますしお金を出すだけでやってくださいだけでなくアイデアもほしいなど、職員の方も頑張ってもらっているのですが、これは今年度に限らず毎年同じ問題を繰り返していますので。過去の色々な流れの中でやっているわけですが、ここ数年はかなり努力され職員も増え、薬草園のボランティアの方もたくさん入っておられますので、その辺りの活用も含めて良い話をどんどん委員会で言っていただくと数字だけのマイナスを見て何をしてるのと言われると思いますので、説明などよろしくをお願いします。

議案第 35 号 平成 28 年度米原市一般会計補正予算（第 2 号）について 【 各 課 】

委員長 : 薬草の防犯カメラはどこに付けるのですか。

事務局 : 1 か所でなく、外や今回ホールの中にも入れようかなということ。

事務局 : 8機設置の予定です。

委員長 : そうすると、あちらこちらということになりますね。

事務局 : 色々な角度から撮れるよう、外野が広いので多方面から見られるように。

委員長 : 屋外ステージの所も入っていますか。ケアセンターの裏の方、あそこは監視が行き届かないのですが、あちらは入ってないですか。お風呂の外の方です。

事務局 : そこは少し離れているので、今のところ絵には描いてないです。お風呂の所までは付けますけど、その辺りはまた調整させていただきます。

原案承認

議案第36号 後援等名義使用承認(後援)について
○平成28年度 アクアゲーム

【生涯学習課】

原案承認

6 報告事項

(1) 後援等名義使用承認(後援)について

○平成28年度 こども水球教室

【生涯学習課】

○邦楽の会「あまのがわ」第20回演奏会

○柏原地区古民家活用サポート事業

(2) 米原市人権教育推進員の委嘱について(追加)

【生涯学習課】

(3) 第3回教育振興基本計画審議会協議内容について

【教育総務課】

委員長 : 気の付いたところだけを私だけの思いで話しますが、まず教育大綱のサブタイトル「ひとを愛し」は自分に対しての「ひと」と言うことなので、他人(ひと)にした方が良いのではと思いますが。

事務局 : 最初はそのようにも言っていましたが、「他人」という活字が表に出てくるのがどうなのかということで、あえて平仮名だけになっています。

委員長 : そうなのですね。2つ目、サブタイトルについての最後「未来の米原を切り拓く人づくりを推進します」の「拓く」は、フロンティアの「拓」となっていますし、

基本目標 1 中の 3 つ目の印の切り「開く」がオープンになっているので、その辺はどうなのかということ。それから施策の展開の 3 ページ、確かな学力の向上の現状と課題の 3 つ目、全国学力学習状況調査の結果で小学校で全て県平均以上、中学校では全て全国平均以上という良好な結果云々と書いてありますが、小学校は県平均以上だったのですね。

事務局 : 去年はそうでしたね。

委員長 : そしたらここはこれで良いですね。

そして次、一方、顕著な課題として教科や領域によって学力層で理解度に大きな隔たりがありますというこの表現が、教育センターでの発表でもベネッセの学力層における分析になっていますが、学力層の D 層の子は当然理解度が低い、学力が低いというのは当たり前のことなので、それよりも先ほど教育長の話ではないですが、学力の二極化ということを入れるべきであると思います。「顕著な課題として」からの表現が気になるということです。7 ページの教職員の資質や指導力の向上のところで色々挙がっているのですが、この中にぜひこの間も私が話しましたが、研究奨励事業でものすごくやってもらっているという現状の文言を入れてほしい。下から 3 つ目、教育の開講講座の話が出ていながらも教育奨励事業で先生方が熱心に論文を出してもらっているという文言を文章に入れてほしいと思います。それから、8 ページの一番下の印、家庭での学習時間の確保や携帯電話・スマートフォンの適切な利用等とありますが、これはスマートフォンと限って良いのかどうか、ネットを含めるなら等とした方が良いのではないかと思います。その後の文章に利用等という文言があるため調整が必要ですが、携帯とスマートフォンだけに限定する必要はないのではということ。それから子育てに関わっては色々挙がっていますが、もっと家族の一員としての役割意識というのか、以前のパンフレット作成時にも私が発言していたと思いますが、そのようなことの重要性の文言をぜひ入れてほしいなと思います。下から 3 つ目の印、家庭の教育力向上の取組について連携をとりながらの辺りに、家族の一員としての役割意思をもっと訴えていくことが必要ではないかという思いです。それから 12 ページ、地域に開かれた学校づくりの現状と課題で現状が挙がっていますが、学校の色々な情報を発信していることが全然入っていないため実際にやってもらっているのでぜひ文言を入れてほしいと思います。逆に、課題としては発信だけでなく、情報収集も学校経営に関する参画と言いますか出す方と入れる方の文言を入れてほしいなということです。16 ページの安全・安心のところでは施策の方向に給食関連施設の適正な維持管理と挙がっていますが、現状と課題のところに学校給食に関わる文言を何か入れる必要はないのか、施策に給食が出てくる

のに現状と課題では出てこないもので、西部・東部ともにしっかり美味しい給食を配食しているという現状の文言をせめて2、3行入れる必要はないかということ。そして17ページ、適切な教育環境のところの施策の方向で適切な学校規模の整備と書いてありますが、先ほどの説明で最終的には文章化されると聞きましたが、ここあたりをどう書かれるかは気になる場所ですので、これから検討いただけたらと思います。21ページの図書館の一番下、「高い専門性を備えた司書の確保新鮮で多様な」のところの確保と新鮮の間に点が抜けていますね。それから24ページ、米原の自然・歴史・文化のところの上から2つ目に伊吹山登山の学習と挙がっていますが、米原の特色の伊吹山に登ろうとか、ふるさとを描こうとか、それもどこかへ入らないかと思いました。本を読もうは図書館のところだと思うのですが、米原の特色を熱心に言っているのも現状のところへ米原はこのようにやっていますという文言が入ったら良いのではと思いました。

事務局 : 今の最後に出ました3つの「まいばっら子に生きるちからを」をスローガンとして、伊吹山へ登ろう、みんなで本を読もう、みんなでふるさとを描こうとかは、心豊かでたくましく生きる力を育む教育の基本目標1なのかなと私は思っているので、まずそこに入れてほしいと思います。昨夜の会議にも出ていましたが、食育と環境教育など特色ある教育の推進がどうもひっかかる。昨日も私も説明をしていましたが、ちょうど食育が出てきた頃にこの基本計画が出た関係で食育が前面に出っていますが、現状とすればそれぞれの学校・園でそれぞれの特色を出した教育を推進していますよというような話かなと思う中で、米原市の特色としては地場産の食材を取り入れた食育はやっているということを入れても良いと思いますが、その辺りが気になる場所です。

委員長 : 6月に総合教育会議や審議会等があるようですので、できたら各課の方で自分の関係するところを職員のみなさんにも見てもらって、特に何も出てこなくてもこのような機会に関心を持ってもらうということ、委員のみなさんだけでなく職員のみなさんも参画しているということで、こういうものをどんどん読んで、なかなか時間を取るの難しいですが何かあったら言ってくださいというような試みしてほしいと思います。

事務局 : 委員長が先ほどおっしゃった「ひらく」という漢字は、滋賀県教育委員会も拓くになっていますね。「拓く」で統一した方が良いと思います。

7 質疑応答

8 その他

・総合教育会議の開催：6月13日(月)または15日(水)のいずれも16時から開催予定。
市長との日程調整が出来次第後日連絡する。

9 閉 会

次回

第6回定例教育委員会 6月23日(木)午後3時30分～

近江はにわ館 談話室 (近江図書館内)

以上をもって第5回定例教育委員会を午前10時55分に終了した。